

令和4年度 第5回 吹田市立図書館協議会（会議録要録）

開催日時：令和5年（2023年）2月2日（木）午後2時～4時

開催場所：吹田市立中央図書館4階集会室

出席委員：瀬戸口委員長、柴田副委員長、高田委員、飯田委員、岩本委員、久保委員、
木田委員、山本委員

欠席委員：宮本委員、羽間委員

事務局：道場地域教育部長（途中退席）、林野中央図書館長、桑名参事、大平参事、
添田主幹、北野主幹、牧瀬千里図書館長、林江坂図書館長、
梶原さんくす図書館長、佐野千里山・佐井寺図書館長、伊藤千里丘図書館長、
長尾健都ライブラリー館長、迫田山田駅前図書館長、栗田北千里図書館長

傍聴者： 1名

令和4年度 第5回図書館協議会次第

- 1 「吹田市立図書館サービス基本計画（案）」について
- 2 「令和5年度（2023年度）吹田市立図書館の目標」について
- 3 報告事項
 - (1) 「まちなかりビング北千里（北千里図書館）」の開館について
 - (2) 吹田市立図書館の報告事項について
- 4 その他
 - (1) 次回協議会の日程について
 - (2) その他

事務局：傍聴者の確認

出席状況の確認

開会の挨拶（道場地域教育部長）

資料確認

瀬戸口委員長：それでは次第の1「吹田市立図書館サービス基本計画(案)」について事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

瀬戸口委員長：「吹田市立図書館サービス基本計画」の最終案について、説明がありました。これについて、御意見、御質問があればお受けします。

岩本委員：37ページの施設管理運営について、包括的民間委託方式とはどういうものなのでしょう。

大平参事：施設ひとつごとに管理メンテナンスの契約を行っているところですが、それらを一括して行おうとするものです。例えば、窓口等業務委託契約は、現在、山田駅前図書館と山田分室をひとまとめにしておりますが、同じ内容の契約事務を1つにまとめて行う方式もできるかなと考えております。包括的民間委託方式導入をもう決めているのではなく、方法として検討していくので可能性の一つとして記載しています。

岩本委員：わかりました。導入検討に当たっては、慎重に進めてください。

柴田副委員長：今までの会議で申し上げた意見については、すでに取り込んでいただいているので、特に追加等はありません。

先程の包括的民間委託の件ですが、導入するとなった場合、吹田市全体としての連携、情報交換をきちり行って、そこが連動しないということがないよう、市として責任を持って行ってほしいと思います。

過去の協議会でも御意見があったように、市内全域サービスという点では、健都、北千里と整備が行き渡ったことがあり、その中でこれからどのようなサービスを行うかが主になってくると思います。

学校との連携については、これまでの会議で多くの委員から意見がありましたし、市民の関心も高いので取り入れていってほしいです。

計画に対して、さらに意見はないですが、これだけのものをまとめられ、並行して他の計画もまとめられて、事務局は本当にお疲れ様でした。最初の案からブラッシュアップされて、すごく見やすいものになったと思っております。

瀬戸口委員長：その他御意見等あれば、お願いいたします。

木田委員：単なる参考意見としてお聞きください。この計画策定については、今、副委員長からもお話がありましたように検討して作ったので、私は素晴らしい計画だと思います。

各項目は抽象的な面がありますので、実際には具体的に何をするか、課題がたくさんあると思いますが、そこはいつも実務をされている方々のサービスの今後を期待したいです。

大平参事：10年の基本計画なので、抽象的な部分が多々ある内容となっておりますが、具体的なことは年次

目標として立てて、毎年の評価をしていくということで、皆様にお示しできるかと思うので今後もよろしくお願ひします。

瀬戸口委員長：それでは、他に御質問等がなければ、本日提示された「サービス基本計画（案）」の内容をもって最終的な答申としてまとめてよろしいでしょうか。

（異議なし）

瀬戸口委員長：それでは、答申にあたり、答申書を提案します。（答申書案の配布）、この内容でよろしいでしょうか。

（異議なし）

瀬戸口委員長：御異議なし、ということで、図書館への答申書提出など事務手続きについては、委員長一任でよろしいでしょうか。

（異議なし）

大平参事：ありがとうございます。なお、今年度、策定を進めておりました「第2次吹田市子ども読書活動推進計画」並びに「吹田市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画（読書バリアフリー計画）」につきましても、2月下旬の策定に向けて、現在、事務手続きをすすめておりますことを御報告させていただきます。

2 「令和5年度（2023年度）吹田市立図書館の目標」について

瀬戸口委員長：次第の2 「令和5年度（2023年度）吹田市立図書館の目標」に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

瀬戸口委員長：事務局より説明がありました令和5年度の目標、検討用の案のものですが、御質問・御意見をお受けします。

柴田副委員長：各ページの下部に各サービス方針の令和5年度の目標が文章で記載があつて、上部に各サービス計画の項目があり、数値が示されていますが、目標にあつての指標として捉えてよろしいですか。

大平参事：指標については、ダイレクトに目指すのではなく、いろいろな目標について実施した結果、上がってきたものとして捉えていただければと思います。行動を起こした結果が指標の数値につながると見てくだ

さい。

柴田副委員長：数字をダイレクトに目標にすると縛られるので、あくまで結果としてとらえるということではないかと思います。

来年度以降、また本協議会で評価の議論があると思いますが、今説明されたようなことを再び説明してもらって、委員の誤解を招かないようにしていただきたいです。来年度は委員が変わることもあると思いますので、よろしくお願いします。

大平参事：ありがとうございました。そのように致します。

飯田委員：レファレンスのことですが、目標の中にPRとあるのですが、具体的には小さなことかもしれませんが、利用者として図書館に入った時にレファレンスの受付場所がわからないのです。今は北千里図書館を利用しているのですが、ずっと奥の方にひそやかにレファレンスカウンターがあります。

吹田のレファレンスは素晴らしいと思っていて、皆さん、もっと利用すればいいのに、と思います。せっかくの知識や能力がある方々がいる場所が明らかになっていないことが多いと思います。

中学生や高校生の子達に「図書館の人に聞けばいいのに。」と伝えても、「誰に聞いたらいいかかわからない。」という答えが返ってきます。PRということであれば、「ここがなんでも聞いていいところですよ。」とわかるようにしてほしいです。もっと利用しやすくなって、レファレンスの頻度も上がると思います。

桑名参事：誰に話しかけていいのかわからない、場所がわかりにくい、などの御意見、ありがとうございます。合わせて話しやすい雰囲気もあると思います。図書館内で課題を共有していきます。

久保委員：利用促進のところですが、分室を除くWi-Fiの整備について、今のところで整備できていることを説明してください。

桑名参事：Wi-Fi設備は、分室を除く全館導入していますが、使えないエリアなどもございますので、時流にも合わせて環境整備を少しでも進めていけたらなと思っております。

インターネット端末も各館にあり、拡大読書器についても各館にあります。拡大読書器については、実際使っておられる方があまりおられないので、せっかく便利な機器を用意しているからには、この機器を知って使っていただけるように広報していく必要があると考えております。

久保委員：図書館でWi-Fiが使える環境があるのは知っているのですが、Wi-Fiすぐ使うのにPWが書いてあるところが見つからないことがあるので、わかるように入口などに提示しておいていただけるとよいと思います。

山本委員：サービス方針の施設や地域の連携というところで、目標達成100%と示されています。目標の内容を見る限り、できることがたくさんあるかと思います。9館1分室、それぞれで何かをやったら目標100%達成ということになるのかもしれませんが、それよりも保育所とか幼稚園とかは、図書館で本を借り

る量がすごく多いです。職員を施設に派遣したりするのは、コロナ禍で難しいこともあるでしょうし、保育所などでお勧めの本ですとお渡しできるように、ちょっとずつのことでよいので出来るように、本の情報を提供できるように、内容を充実してもらって目標を達成してほしいと思います。

桑名参事：職員の派遣については、先方もあってのお話になりますが、取組としては本に関わる情報を図書館から発信し、直接お目にかかれなくても連携していけるようにしていきたいと思います。

高田委員：サービス方針3 持続可能な運営の箇所、書き方が難しいと感じるのですが、指標のICTの活用と令和5年度の目標とのつながりが見えにくいということ、下の箇条書きの部分もつながりが分かりにくいです。その辺り、書き方の工夫が必要だと思います。

四角枠の中に記載されている目標も、他市事例の調査を行った上で検討されたらいいのではないかと思います。

大平参事：指標のICTの活用のイメージとしては、今、有人でしているサービスをICT活用して自動化できないか、自動貸出ができるサービススポットを増やすことができないか、利便性の向上につながるものをイメージしておりますが、内容そのものも含め、まだ言葉が不足しているところもあり、整理して考えてまいります。

瀬戸口委員長：確かに目標設定ですので、実現可能性といったものを考える必要があるかとありますが、他市調査を目標とするのには違和感があります。目標を達成するための要件整理とかの表現がいいのかと思います。結局、調査というのは目標達成のためのものであって、下の部分に記載であればよいのですが、それを目標とするのは違うので表現は考えてもらった方がいいかと思います。

大平参事：ありがとうございます。検討します。

3 報告事項

(1) 「まちなかりビング北千里(北千里図書館)」の開館について

瀬戸口委員長：他に御意見がなければ、次第の3 報告事項に移りたいと思います。

次第の3 報告事項(1)「まちなかりビング北千里(北千里図書館)」の開館について事務局の説明をお願いします。

林野中央図書館長：(北千里図書館長紹介)

栗田北千里図書館長：(挨拶)

開館を11月22日に迎え、開館当初から多くの方に来館をいただきました。

開館から12月2日までの期間を開館イベントの期間として、少し長い期間を設けました。コロナ禍の対応ということで、できるだけ特定の日に混雑しないことを狙っての措置でこのように行いました。

しかしながら、それでも初日は1,900人、23日の祝日は約3,000人の来館がありました。図書館は、毎日10時から20時まで開館しており、複合施設で公民館、児童センターもあって、公民館が一番夜遅くまで22時まで開館しており、長い時間帯の開館での入館者数だと捉えています。

貸出冊数は初日が突出して多く、図書館利用を目的に来館されたのかなと思っております。

開館イベントで地域との連携としましては、千里金蘭大学から学生の方々に来てもらい子供向けの遊びのイベントを開催し、絵本作家の方を囲んだワークショップ、吹田市吹奏楽団の演奏、図書館に足を運んだことのない方への各種事業を展開しました。

12月から1月、冬休みがあり、混雑状況が可視化できるようなシステムを導入しまして、混雑サインを指定管理事業者のホームページで信号のように掲示しています。

館の運営に関しては、地元の方々、北千里分室の時から利用なさっていた方々を結ぶ地域に根差した開かれた図書館を目指したいと考えており、学びの拠点として、学ぶ、子どもをキーワードに今後も運営を進めていきたいと思っています。今後も地域との連携、大学との連携、市民の学びを支える活動を行ってまいります。

紙芝居講座も多くの参加者があり、すでにボランティアでそういった活動されている方の一助になったのではないかと考えております。これからも地域の方の読書推進支援を支えていきたいと思っております。

瀬戸口委員長：何か御質問などありましたら、お受けします。

木田委員：まちなかりビング北千里は、吹田市立図書館のサービス基本計画にも則った建物ができた、よく検討された建物と思います。

ただ、個人意見ですが、面積がもうちょっと広がったらいいのかなと思いましたが。正面のエレベーターがもう少し考えてもらったらよかったのにと、私は何となく違和感を覚えました。

大平参事：地域の皆さんにも話題になった建物で、おおむね喜んでいただいております。木材利用の特色ある図書館で、環境に配慮した建物となっております。

エレベーター設置は、1階の法面が高いので、それを補完するために、かなり大型の車イスですとか、障がいのある方などがスムーズに出入りしていただけるようにしたものでございます。

3 報告事項

(2) 吹田市立図書館の報告事項について

瀬戸口委員長：次第の3 報告事項(2)「吹田市立図書館の報告事項について」、事務局の説明をお願いします。

林江坂図書館長：(江坂図書館の改修工事の進捗について説明)

瀬戸口委員長：何か御質問などありましたら、お受けします。

(質疑なし)

瀬戸口委員長：それでは、次第の4 その他の(1)次回の日程 を事務局から説明をお願いします。

(次回協議会の日程について説明)

瀬戸口委員長：最後の案件になりますが、その他の(2)その他 について、事務局から何かありますか。

(特になし)

瀬戸口委員長：皆さんのほうから他に何かありますでしょうか。なければ、本日予定しております案件は以上
ですので、本日は、これで会議を終わらせていただきます。長時間お疲れ様でした。